

Inter BEE Content Forum 2012 音響シンポジウム

日時：2012年11月16日(金) 14:00～17:00
会場：幕張メッセ 国際会議場 2階「国際会議室」
聴講料：3,000円(消費税込) ※学生無料

地上デジタル放送が本格化し、スポーツ中継の音声制作のスタイルも大きく変わっています。日本を代表するスポーツ中継の音声スペシャリストが一堂に会して、最新情報の紹介やディスカッションを行います。放送局、CATV、衛星放送スポーツチャンネル、制作プロダクション等で、スポーツ中継に携わっておられるか、携わる可能性のある皆様方には必見のセッションです。大規模スポーツ制作は、音声制作以外にも様々な連絡系統の構築や、各現場間の送り返し、さらにメインの放送以外にもニュース用音声や世界配信用 IS 音声の制作等複雑なシステム構築を必要とします。これらの問題を具体的な事例に基づいて議論します。

■プレゼンター



日本テレビで今冬に行われる FCWC サッカー中継でのステレオ制作と分岐関係を中心とし、同じく冬に行われる高校サッカー決勝、5.1ch サラウンド制作を対象として、日本テレビサッカー中継について音声のあり方(プレイヤーの競技音、サッカーボールの音、会場の響きと観衆の声など)を考察する。

高岡 彰吾 氏

株式会社 日テレ・テクニカル・リソーシズ
制作技術センター技術制作部 音声



フジテレビでは2011年のワールドカップバレー、そして今年の5月～6月にかけて開催された、ロンドンオリンピックバレーボール世界最終予選の中継を行ってきたが、これらのバレーボール中継システム(音声システムおよびマイクプランなど)におけるフジテレビの技術的取り組みを紹介する。

竹下 博英 氏

株式会社 フジテレビジョン
技術局 制作技術センター 制作技術部 副部長



甲子園球場における野球のサラウンド中継

和三 晃章 氏

朝日放送株式会社
技術局 制作技術センター 制作技術 課長



ロンドンオリンピックにおける SHV と 22.2ch 音声の中継

池田 重之 氏

日本放送協会 放送技術局 報道技術センター 中継部

■司会・進行



沢口 真生 氏

沢口音楽工房・
サラウンド寺子屋塾 代表
Fellow AES/IBS



亀川 徹 氏

東京藝術大学 音楽学部
音楽環境創造科 教授

大規模スポーツ制作の音声構築

主催：一般社団法人電子情報技術産業協会
運営：一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会
お問い合わせ：Inter BEE Content Forum 事務局・
アイビー企画
TEL：03-5937-4166